

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 9-5-1	事務事業名 雨水浸透施設助成事業	所管部課 都市整備部 下水道課
----------------	---------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	雨水浸透施設を設置する者に対して、その経費の一部を市が助成することにより、住宅の屋根に降った雨水を地下へ浸透させ、地下水の涵(かん)養及び潤いのあるまちづくりを進める。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 市内にある敷地面積が500平方メートル未満の個人住宅で、所有者が屋根等の雨水を地下に浸透させる施設(雨水浸透樹、雨水浸透トレンチ)を設置した場合の費用に対して、予算の範囲において15万円を上限として助成する。(開発行為等に該当する場合を除く。左記に該当する場合は、雨水浸透施設の設置について、人にやさしいまちづくり条例に基づき指導を行う。) 本事業は都費補助(補助率27.5%)の対象事業であるため雨水浸透施設の構造要件の変更はできないものの、助成の金額や方法については各市で設定することが可能となっている。 (予算事業名:08.04.03.03 雨水溢水対策整備事業費(雨水浸透施設助成金))	
事業開始時期	合併前	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
事業費(A)		6,146	5,597	5,685	7,042
財源内訳	千円				
国庫支出金・都支出金		1,690	1,539	1,563	1,930
地方債					
その他 ()					
一般財源		4,456	4,058	4,122	5,112
所要人員(B)	人	0.40	0.40	0.40	0.40
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3,174	3,284	3,174	3,320
臨時職員賃金等(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	9,320	8,881	8,859	10,362
単位当たりコスト					
(E)=(D)/ (雨水浸透施設設置戸数)	千円	198	197	201	

活動等指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
① 雨水浸透施設設置戸数	実績値 戸数	47	45	44	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 助成制度により雨水浸透施設を設置した家屋数。					
成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
一次 雨水浸透樹設置個数	目標値 個数	215	144	143	140
	実績値 個数	152	120	110	
二次 総浸透能力(累計)	目標値 m ³ /h	62,833	62,912	62,996	63,080
	実績値 m ³ /h	62,814	62,900	62,984	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 雨水浸透樹設置個数は、設置する雨水浸透樹の大型化・集約化等により減少傾向にある。 総浸透能力(累計)は、整備した雨水浸透施設の1時間当たりの浸透能力の総計。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	屋根に降った雨を一時的に貯留するタンク(雨水タンク)の助成について、問い合わせがある。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	雨水浸透施設助成制度を設けているのは都内26市中、本市を含めて22市となっている。うち、限度額を設定しているのは、20市である。本制度の運用が各市様々であるため、一律の比較は難しいが、総じて平均的な助成制度である。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	「雨水小型貯留タンク設置助成制度」があり都内26市中、11市で行っているが本市は未実施である。

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	本市においては、「西東京市公共下水道プラン(平成28年3月)」において、雨水の流域への流出を抑制し、浸水防止と減災を図るため、敷地内に降った雨は敷地内で処理することを指導している。雨水浸透施設の設置を推進してきた結果、総浸透能力は約63,000m ³ /hと小学校の標準的なプール約175杯分に匹敵する浸透力となっている。雨水浸水対策事業の一つとして、当該事業は浸水・洪水被害の緩和を図る重要な事業であり、継続実施すべきと考える。 また、当該事業は東京都の「雨水流出抑制事業補助」の対象事業となっており、工事費の27.5%の補助を受け実施している。 平成23年度の事務事業評価で指摘を受けた「雨水小型タンク設置に係る助成」については、東京都が設置基準等に関する明確な規定がなく、また使用方法によっては必ずしも雨水抑制にならないことから引き続き検討が必要である。
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方	2		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	雨水浸透施設設置への助成については、地下水の涵養及び潤いのあるまちづくりだけでなく、溢水対策としても一定の効果があるといえる。しかし、本助成による敷設実績は毎年40件程度にとどまっているため、積極的な推進による実施件数の拡充を目指すべきである。 また、雨水処理の方法については、他市の事例も参考にしながら、雨水タンク、貯水槽などへの助成についても検討されたい。
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方	1		
	事業内容等の適切さ	1		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	(対象外)

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	本事業については、地下水の涵養及び潤いのあるまちづくりに寄与するのみならず、浸水や溢水被害の緩和にも効果のある事業であると認識している。 しかしながら、毎年の浸透施設設置実績は減少傾向となっており、市民へのPRなどの積極的な取組が必要と考える。 今後は、実績拡大に向けた推進を図るとともに、雨水小型貯留タンクなどの助成といった新たな方策についても調査・研究されたい。

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	◇平成29年度 ①市報やホームページ等を活用し、周知を図る。 ②雨水小型貯留タンク等について、他自治体の動向を調査・研究し、対応について検討する。
---------------	---